

高尚な皮肉

[ライブラリ](#)

合気と水の流れ

師範代「今日の稽古は以上ですが、見学の感想があれば聞かせて下さい」

見学者「ありますが、何も分からない内から見解を述べるのは失礼と存じますので、感想は控えます」

師範代「あるんですね。どんな事を思いましたか」

見学者「…。私は合気と流れ水を混同していました」

師範代「合気と流れ水!! お話し下さい」

見学者「川を板で塞ぐと、堰き止めた板のすぐ脇を流れる水もあれば、板から離れて遠くを流れる水もあり、いずれも、水は現在場所から最短距離を辿って目的場所へ流れて行きます。

合気は相手へ返しますので、目的場所がある点は水と同じですが、気が進む方向は、水が流れる『下』という自然な場所ではありません。

相手から放たれた気を相手へ返そうとするのは、低所の水を高所へ上げる不自然さと同じせいか、素振りが大きくなり、動きにムダが生じます。流れる水に不自然さはありません。

相手と気を合わせる『調和』が極意なら、精神修養をすればよく、体術は不要です。制圧が目的なら、やり方は他にいくらでもあります。

気の返し方が自然でも、相手へ返す不自然さがあり、合気は根底が不自然です」

最終更新日 2026-07-19

[まこと](#)